

【施策評価調査】

施策名	1-5-3	水処理施設の拡充	81	安定した汚水処理を実施するため、流入汚水量の増加に伴い汚水処理施設を増設します。
担当部課	建設産業部 上下水道課	担当 リーダー	建設整備担当 阿久津 幽樹	
環境変化	特になし			公共下水道汚水管整備の進捗に併せて、「宝積寺アクアセンター」、「仁井田水処理センター」の汚水処理機能の拡充を図ります。

■指標

施策の評価指標	基準値	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
指標①:汚水処理機能の拡充	平成16年度末 仁井田水処理センター現有汚水処理能力 1池 750㍈/日	計画 実績	平成17-18年度 1池増設 2池 1,500㍈/日 ↑ 平成17-18年度 1池増設				
指標②:汚水処理機能の拡充	平成16年度末 宝積寺アクアセンター現有汚水処理能力 1池 1,400㍈/日	計画 実績	→	→ 脱水機増設	→ 脱水機増設完了		
指標③:汚水処理機能の拡充	平成17年度末 宝積寺アクアセンター現有汚水処理能力 2池 2,800㍈/日	計画 実績	→	→	→	↑ 増設詳細設計	平成22-23年度 1池増設 3池 4,200㍈/日
指標④:		計画 実績					
◆◇ 指標に関する特記事項 ◇◆	① 仁井田水処理センターの整備は平成18年度で完了しています。 ② 宝積寺アクアセンターから発生する余剰汚泥脱水機の増設台数 ③ 宝積寺アクアセンターの汚水処理能力(1池当り1,400m <sup>3</sup> /日×3池)						

施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	当初	83,620,000	161,400,000	31,021,000	42,000,000	
決算	83,590,500	62,640,000	114,980,000	36,109,500		

■事務事業事後評価 21年度の検証

施策傘下事務事業	事業費	活動量(アウトプット)	施策への貢献度	施策達成にどう貢献しましたか？(アウトカム)			
①宝積寺処理区水処理施設建設費	当初 42,000,000	詳細設計書作成	A	下水道管延伸による接続件数の増加に伴い宝積寺アクアセンターの流入汚水量が増加しており、平成24年度中には現有処理能力を上回ると予測されるため、3池目の増設工事を早期に発注することができる。			
	決算 36,109,500	完了 /		今後の方向性(自己評価)	継続	今後の方向性(総合評価)	継続
②	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
③	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
④	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
⑤	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	

■施策事後評価 21年度の検証

	施策達成状況に関する評価	課題と今後の方向性
自己評価	平成24年度中には、流入汚水量が既存処理施設の処理能力を上回ることが予測されることから、汚水処理施設の増設を図るための、工事発注設計書作成が完了し平成22年度早期に発注が可能となった。	増設工事は、事業費が大きく工期を多く要するため、平成22～23年度の2箇年度継続で事業を実施することから、工事の進捗状況を的確に把握し、供用開始が予定通り行えるよう事業を進める。
総合評価	継続的に施策展開されていると評価する。 後期計画に向け、財政状況を勘案した整備となるが、汚水管布設事業、流入量の推移、区画整理事業の進捗状況を見ながら、他の事業と調整を行った上での整備計画を検討すること。	